

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

同志社女子大学のことは、母の母校という点もあり、よく聞いていました。高校二年生の夏母と一緒にオーパスキャンパスに行った際、他にいい校舎の風格や校風に強く惹かれ、ここに行きたいと思うようになりました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

## 〔1学期〕

私の学科の受験科目は、英語・生物・国語だったので、配点の一番大きい生物をメインに取り組みました。学校の授業ペースでは遅いため、塾に通い先取りで授業を受けました。また、毎日ツツツと生物のシートを初めからやり直しました。英語については、単語をあまり覚えていなかったので、毎日単語帳を見るようにしました。

## 〔夏休み〕

夏休みに入る朝から学校の補習を受け、風から夜の9時頃まで塾で勉強する毎日になりました。生物に関してはシートを二回ほどして後進うテキストへ移り色々な問題に触れました。英語に関しては、100, 500, 700の順に毎日1題のペースで尺がさす取り組みました。英語力はすばく落ちてしまうので、毎日尺がさす続けることが重要になってくると思います。国語は、古典を中心に助動詞や単語を覚えるところから始めました。

## 〔2学期～入試直前〕

私の学校では特別授業が始まり、年前で学校が終わるようになりました。私はこのあたりから自分でやる勉強法に出会いました。生物で行っていたのですが、17-17の過去問をして間違えた問題と答えをノートに書き出し、自分の弱い部分をノートを作りました。この時期は3教科全て過去問を解いて行かされたところ、間違えたところの復習を繰り返す毎日でした。英語は文章を要約する練習も取り入れながら行いました。英語に関しては朝から尺がさす見続けました。古典ではよく使われるワードを覚えたり、古典常識などを確認しました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は剣道部でした。春の大会後、引退してから学校が終わるまでに塾へ行き21時まで勉強する毎日でした。スマートフォンについてはYouTubeをよく見ていたのですが、勉強時間が増えようになると見られなくなりました。私はスランプが来ました。同じように勉強し続けているのに正答率が上がらないうえに下がるときもあり、精神的に苦しかったです。その時は友達や先生から話を聞いてもらって頑張りました。話を聞いて思えば、スランプが来ては諦めず頑張れば良かったと思います。もしスランプが来てしまったら「しかたない」と思って諦めず続けてほしいと思います。友達や親、先生に話を聞いてもらったり、「本当は面白い」「面白いのは何か」を話し合えば良かったのではないかと思います。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験は自分の力で頑張れるか、何かに頼る限りは志望校を下げず頑張るべきだと思います。行きたいという気持ちや強い心で勉強を頑張れると思います。また、自分の受験教科が好きだとすれば熱が入り、深くまで知りたいと思います。幅広く勉強するのではなく、好きにやることで、好きにやることで本心が思えます。